《地域サポートセンター　よいどこい》

令和２年度　小規模多機能型居宅介護　サービス評価

霧島市国分府中町 17 番 8 号

電話 0995-48-8877 fax0995-48-8880

http://www.yokaanbe.com/

◆自己評価
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・(事-①～⑨)

◆外部評価
外部評価（地域かかわりシート②）・・・・(地②-1～6)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　１１月　２５日（水）
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	苙口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	6 人	6 人	0 人	12 人

前回の改善計画

【ミーティングの開催】
《利用者様がどんな暮らしをしているのか？ご自宅にうかがう》
◆利用開始１ヶ月以内に、全職員が、送迎や訪問時に自宅へ行き、その人の暮らしや環境を見る。知る。聞く。

前回の改善計画に対する取組み結果

・一ヶ月以内ではなかったが、自宅へ行くことが出来た。
・訪問・送迎の際にご家族と話をして聞き、知った情報は申し送り・タブレットし、自宅での様子やどのような暮らしをしていたか知る事が出来た。
・訪問・送迎に行き話を聞けた職員も居たが、訪問へ行けなかった職員もおり、実際に自分が知る、関わる事が出来なかった職員も居た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	8	4	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	7	4	1	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	0	7	4	1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	7	4	1	12

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者の情報を話している職員がいたときには、手を止めて知る事を行った。・ミーティングでのケアマネからの情報で、配慮すべき点等に気を付けて支援している。・ミーティングを通して共有し、慣れない内は関係作りをして、対応が何とか出来た。・機関紙配りで本人に会い、覚えてもらえなかったが、自宅は分かった。・利用開始前の情報共有が出来た。・ミーティングでその方の状況を知る事が出来た。・１対１だけではなく、周りの方との関係作りが出来た。・慣れない時期には、気を付けて声掛けする事が出来た。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・担当者会議に出ているケアマネに情報を求める事が多く、“ケアマネが教えてくれるだろう”と思う自分が居た。・ご家族との関係性が出来ていなかった。・関係性が出来ていても、ニーズに対する具体的な関係性が出来ていなかった。・ご本人の不安で軽減できる対応が難しく、受け止められていない。・亡くなられた事に対して、どのように話しをすればいいのか戸惑ってしまった。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

【ご利用者がどんな暮らしをしているのか？自宅へ伺う。】
・前回の計画を引き続き継続。今後も新規の利用開始１ヶ月以内には全職員が送迎・訪問時に自宅へ行けるようにし、その人の暮らしや環境を見る・知る・聴く！！

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　１２月　７日（月）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	芝口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	8 人	3 人	1 人	12 人

前回の改善計画
《ご利用者の誕生月に、本人の“～したい”を計画、実現しよう》 ◈年度初めにご利用者の担当を決めて、担当スタッフがご利用者のお誕生日にご本人の“～したい”という想いをくみ取りそれを実現できるように企画し実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・誕生月に計画を立てて、実施する事が出来たが、“～したい”をくみ取れなかったご利用者もおられ、実現出来なかった方もおられた。 ・言葉で伝えられないご利用者は、ご家族の情報や思いを基に実現する事が出来た。 ・担当スタッフではなくても、得た情報は伝えることが出来、よりご本人の“～したい”に近づけた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	1	10	1	１２
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	3	7	2	１２
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	3	8	1	１２
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	3	6	2	１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ゴールや当面の目標を実現する為の体調管理が出来た。・ミーティング等での発言や情報共有。・タブレットになって、本人の当面の目標が見やすく、その時その時で確認が出来た。・ご利用者の“息子さんと生活がしたい”を実現出来た事。・	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の目標“～したい”が理解していない、また直接的に話をしても、汲み取ること、聞き出す事が出来なかった。・ミーティングが出来なかった月があった。・ミーティング開催する際、ケアプランがない中行ってしまった。・ご利用者の情報を確認していない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
《ご利用者の誕生月に、本人の“～したい”を計画、実現しよう》 **◈誕生日用の企画ファイル作る。** **・誕生日の前の月には、集中して情報を得ていく。企画ファイルの中にセンター方式を入れ、得た情報を書き込んでいく。情報を基にご利用者の“～したい”を担当チームが計画、実行していく。**	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　１２月　７日（水）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	苙口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	９人	１人	０人	12人

前回の改善計画

《よいどこいでの通いの場面でスタッフ全員が継続できる元気アップ活動を実施する》
◆１１時からリビングにて、リビングにいる人とＣＤラジカセを使い、「かごんま弁ラジオ体操」を行う。
※自宅で生活している方が多いので、今の生活を継続出来る為に行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

・ラジオ体操の実施が出来、元気よく、一人一人のご利用者と目線を合わせて行う事が出来た。ただ、体操に参加するご利用者が決まってしまい、出来ない、行っていないご利用者に対してのアプローチが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	2	7	3	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	0	2	7	3	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	9	1	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	0	9	1	2	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	9	3	0	12

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ラジオ体操だけでなく、リズム体操等行い、楽しく体操が出来た。・基礎的な介護が出来た。ご利用者について、訪問看護や主治医の方と MCS の情報ツールを使い、変化に合わせた関わりが出来た。・ご利用者の生活、一人暮らし→息子さんとの暮らし→一人暮らしと環境の変化があっても、合わせた支援が行えた。・他の職員から介助方法を自ら聞き、ご利用者に合わせた介助が出来た。・午前、午後の体操を積極的に行えた。・他の職員が行っている活動や体操が、ご利用者に対してどのような効果があるのか調べたり、自分が行う時の参考に出来た。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご利用者の変化に対して、即時に対応できないときもあった。・ミーティングで検討するべきことがあっても、皆で考えず、その日の職員で考え行動する事があり、共有が出来なかった。・“以前の暮らし”を 10 個以上は把握できていない。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

《M様に焦点を当て、以前の暮らしを知る》
・M様の自宅へ伺い自分たちの目でその環境を見る。そこから他のご利用者の暮らしを知りたいと思える。
・行った後、さらに知りたいことを記録し残す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年　　２月　９日（火）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	苙口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	９人	１人	２人	１２人

前回の改善計画
《ご自宅での暮らしの情報をご家族から受け取りその情報共有を実施する》 ◆送迎時、ご家族から得た情報（夜間の様子、排泄状況等）を申し送りやタブレットに入力、全職員で共有する。 ※自宅で生活できることが地域での暮らしに繋がるので、自宅での情報を大切にする。 ※自宅でのスタイル、タイミング、スケジュールを知る事で、もし泊まりを利用される場合、本人のリズムを崩すことなく過ごすことが出来る。
前回の改善計画に対する取組み結果
・送迎や訪問時等、ご家族から得た情報はタブレットや申し送りを使い、共有する事が出来たが、入力が出来なかった時もあった。口頭での共有になりその日の勤務者だけでの共有となってしまうこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	6	4	2	１２
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	6	4	2	１２
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	4	4	4	１２
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	1	6	5	１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・連絡帳にご家族からの情報やコメントがないか、自ら確認をしている。・ご家族から得た情報は、その都度タブレットや申し送りへ入力、他職員と共有している。・出勤時に必ず申し送りを見て、自ら情報を得ている。・清藤様の利用が開始したこともあり、地域の方との関わり、一緒に見守れる様に関係づくりが出来た。・行きつけの床屋さん、奥様が入所されているホームと関係が出来た。・地域の資源を知るようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自宅でのリズムを知らない。・民生委員がいる事は知っているが、顔までは知らない。・地域資源の把握が出来ていない。・連絡ノートを活用できていない。・ご利用者が住んでいる地域の方との関わりまで把握できていない。申し送りを活用できていない。本人の暮らしや地域での暮らしなど、ご利用者によって把握できている、出来ていない人がいる。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
≪Ｋ様に焦点を当て、その方の地域の人、資源を知る。≫ **・ＢＯシステム（タブレット）に入力時「地域資源」というキーワードを入れる。** **・Ｋ様の暮らしマップを作る。　・他のご利用者も同じ方法で情報を集める。**	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年　２月　　９日（火）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	苙口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	６人	５人	１人	12人

前回の改善計画
《他職員に知って貰いたい情報（利用者様の変化、地域資源等）を職員間で共有する》 ◈共有したい情報はタブレットに記入し、その見出しを申し送り簿に記入し情報共有していく。 ※詳しいことはタブレットに入力し、他職員に見てもらいたい情報は、申し送りに“～様の情報（タブレット参照）”と記入し、記録を確認していくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・申し送りやタブレットに記入し、情報（ご利用者の変化、地域資源）を共有出来た。変化に対して、通いや訪問を調整したり、他の機関への相談、協力が出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	6	1	5	１２
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	1	8	1	2	１２
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	0	9	2	1	１２
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	0	１０	1	1	１２

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域に住んでいるご利用者に対して他の事業所へ相談出来た。・訪看や主治医など他の機関との情報共有（MCS）が出来、関係を繋げ、一緒に考え支援が出来た。・台風が来た時の緊急泊り対応。・記録の確認、自ら情報を得た。・日々の変化を申し送り、タブレットに入力。・ご利用者のペースに合わせて支援を考え、行えた。・ご利用者の様子をみて、休んで頂く時間も作ることが出来た。・LINEを活用し、情報を発信、また得ることが出来た。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ミーティングでの共有が出来ていない。・情報は得たが、記録入力迄出来なかった事もあった。・地域資源やニーズなど得ても、自分発信では出来なかった。・地域資源を得ても活用が出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
《ミーティングの実施》 **・毎週木曜日　11:15～11:45（30分）** **・実施する事で日々の悩みや、ご利用者の変化について話し合いが出来る。**	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年　　２月　２２日（月）

６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	苙口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	５人	５人	２人	１２人

前回の改善計画
《情報発信、スタッフ自ら外に出ていこう》 ◆機関紙を手配りしていく。 ※エリアごとに担当を決めて皆で取り組めるようにする。 ◆地域行事年間計画を見える化して、参加担当を決める。 ※よいどこい行事年間計画の中に入れ込み、イベントグループで参加したい行事を決め、担当として参加していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・機関紙配りは、エリアごとに担当を決めて、皆で取り組めたが、勤務内に皆でいけない事もあった。時間外の時もあった。機関紙配りをする事で、ご近所の困り事を聞くことが出来た。 ・地域行事年間計画を作り、見える化出来た。コロナで後半のきなみ中止になり参加が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	0	2	１０	１２
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	2	9	１２
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	2	8	１２
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	4	2	6	１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の方々へ笑顔であいさつ出来た。・機関紙配りを行い、関係が出来る様に行った。よいどこいの行事に参加できた。・地域の用排水路清掃作業に積極的に参加した。・こども倶楽部の開催。・コロナ化だが、出来る事を考え、児童クラブの子供たちの交流を行えた（サツマイモ堀・七夕飾りプレゼント）・スクールガードを継続、子供達と顔馴染みになった子供達が、燕を見に来たり、トイレを借りに来られた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナの影響が大きく、会議やイベントに参加できなかった。・自治体との関わりが出来なかった。・消防訓練に参加できなかった。・地域行事に参加できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
《機関紙を手配りし、地域と顔が繋がることが出来る》 **・機関紙をご利用者と一緒に配達することができるよう努める。** **・担当エリアをローテーションし、全域を把握出来るようにする。**	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年　２月　２２日（月）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	苙口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	６人	４人	２人	１２人

前回の改善計画
《地域の方と接することができるよう環境活用を工夫する》 ◆ゴミ拾いやスクールガードの継続。 ◆積み木作りをベランダで削る。 ※ウッドデッキで積み木作りを行う事で、よいどこい前を通りがかる方へ声もかけられる。少しでもよいどこいから外に出る事を意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ゴミ拾いやスクールガードは出来る様に勤務調整を行い継続できた。途中会った地域の方へ挨拶も行えた。 ・ウッドデッキで積み木を作成。地域の方と会う事が出来、会話も生まれた。またお借りしている畑を活用し、少しでも外に出て接する事が出来る様に行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	2	6	4	１２
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	5	4	3	１２
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	1	5	6	１２
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	4	4	4	１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・スクールガードの参加。・ゴミ拾いの継続。・玄関前などでは地域の方と話す様に心掛けている。・地域の方に会ったら、まずは挨拶を心掛けた。・積み木作りを行えた。・地域の方との情報共有、得た情報を基に相談する事が出来た。・畑を活用して、少しでも外へ出ていけるように行えた。・ご家族から得た情報は上長、スタッフに伝えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営に反映させることがよく分かっていない。積極的に取り組めていない。・事業所の環境を活用できていない。・積み木作りに参加できていない。・積み木作りは出来たが、室内で作る事が多かった。・外へ出ない時期もあった。・意見や苦情があれば活かしたいが、関係が出来ておらず、得ることが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
《つみ木作りを定着化させる事で、ご利用者が楽しめる時間を作り、よいどこいの力として発信する》 **・納品目標を掲げる。　・作る場所を考える。** **・ご利用者とスタッフが一緒に作業する。**	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和３年　３月　８日（月）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	芝口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	３人	７人	２人	１２人

前回の改善計画
《自己研鑽を意識しよう》 ◈外部の研修案内が届いたら、当法人研修アドバイザーグループ担当者に提示し、研修案内掲示板に掲示する。参加した研修は参加後に参加しました！掲示板へ掲示しなおす。 ◈外部研修参加後、一週間以内に研修資料及び報告書を申し送りファイルに綴じ全スタッフが確認しサインする。サイン後は各自で自己成長ファイルに綴じ保管する。 ◎自己成長プランは互いの目標を共有できるように掲示
前回の改善計画に対する取組み結果
・職場内研修には必ず参加できた。外部研修は上司の案内を基に参加、自己成長の為に“初任者研修”“実務者研修”“実践者研修”へ参加するスタッフもいたが、“自ら参加”が出来なかった。 ・４月に自己成長目標を立て、スタッフ皆が共有し合えるように、見える化する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	0	3	7	2	１２
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	8	0	1	１２
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	6	4	１２
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	0	6	4	2	１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職場内研修に参加出来た。地域密着型サービス連合会、LSW 開催の研修に参加出来た。・実践者研修、実務者研修、初任者研修に参加出来た。・リスクを考え行動する事が出来た。・リスクマネジメントについては取り組めているつもりである。霧島市コロナ派遣研修に参加、得た情報は事業所で活用できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・外部研修への参加が出来なかった。・研修案内が貼っていたが、自ら参加希望できなかった。リスクなのか？事故になってから気付くことが多かった。自己成長ノートを書いたが、毎日行えなかった。・外部研修案内を掲示できなかった。・連絡会に参加できなかった。自己研鑽に必要な外部からの情報をうまくキャッチできていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
《積極的に研修に参加する》 **・リモート研修も積極的に取り入れ、研修に参加する事を計画していく。**	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和２年　３月　９日（月）
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	苙口・原野・有薗・小山・花田・永田・寺園・繰・徳永・成尾・吉野・岡元・工藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	６人	１人	０人	１２人

前回の改善計画
《目線を合わせて話をしよう》 ◈ご利用者、ご家族、地域の方、スタッフ、誰とでも、目線を合わせて、一呼吸おき、話を始められるようにしよう。
前回の改善計画に対する取組み結果
・目線に入る、入ろうとすることで、自分自身が一呼吸おけて話すことが出来た。 ・自分からアプローチする時は目線を合わせられたが、遠くにいるご利用者へのアプローチが上手く出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	1	10	1	0	１２
②	虐待は行われていない	3	9	0	0	１２
③	プライバシーが守られている	1	8	3	0	１２
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	1	10	１２
⑤	適正な個人情報の管理ができている	0	9	3	0	１２

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・相手の様子を見て先回りせず、待つように心がけ支援する時も声掛けしている。・自分で虐待、拘束をしないように心がけている。・タブレットを使用しているので、管理がしやすくなった。・必ず“ノック”を心掛けている。・利用者様お一人お一人のプライバシーは守るようにしている。・自分が行うケアが身体拘束や虐待になっていないか、気を付けている。・ご利用者が恥ずかしいと思う場面での配慮（排泄時の退室、バスタオルの活用）	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者様の情報を他の利用者様の前で話すことがあった。・プライバシーを考えた細かな配慮に欠けていた。・成年後見制度等の事は関わっていないので、活用できていない。・利用者様から手が上がってしまうので必死で、しっかりと守れているか分からない。・本人の意思に関係なくソファーに座らせている事がある。・トイレでノックはするが、返答を待たず開けてしまう事があった。・職員の都合で動きを止めてしまう事があった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
《一呼吸おく》 **・様々な場面で“一呼吸おいて”行動する事を心掛ける。また、その時に相手の気持ちを考える。**	

外部評価　地域かかわりシート①

外部評価　地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

Ａ．事業所自己評価の確認

№.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	8	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	7	0	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5	1	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	7	0	1

【上記４つのチェック項目に関する意見】
・前回の改善計画に対する取り組み結果を精査し、出きている点、できていない点を明らかにすることで次回までの具体的な改善計画に結びつけているところが素晴らしい。
・項目別に自己評価がなされ、とても積極的でとても良いと思う。

（前回の改善計画に対して意見）
・職員一人一人の努力もさることながら、事業所としての存在価値の向上につながる効果があったのではないかと思う。
・改善計画のテーマが絞って計画されているので、メンバー全員にわかりやすく実践活動の評価基準が誰にでもわかりやすく見える化しやすいのではないか。

【今回の９つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】
・改善計画の内容はそれぞれに意味があり大切なことだと感じる。個々には簡単なようで、実はハードルが高かったというようなものもあったのではないだろうか。
・改善計画が具体的であると思うが、達成可能であるか？自己評価（個人チェック集計欄を単純集計してみると、良く出来ていると何とか出来ているを合わせて約 45%、あまり出来ていないとほとんど出来ていないを合わせて５４％に・・・。工夫が必要なのか、これが平均的なのか。コロナの中で困難な部分もあると思う。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】
・各項目ごとに自己評価することで自己分析が可能となり、他者の結果や意見等を見聞きすることで自らのスキルアップに大きな効果をもたらすものと考える。何事にも、向き、不向きはつきものであり、人それぞれではないでしょうか。できないことに臆することなく、前向きに努力を重ねていただきたい。
・お互いに率直な自己評価が出し合える環境は最高。とても大事だと思う。テーマが出来なかった人数よりも出来る方法を全体で工夫する。「出来ている点」「出来ていない点」と問題が具体的に見える化されていてとても良いと思う。

【改善計画】※後日記入
○９項目の改善計画の内容が実行可能になるように検討をする。
○同時に事業所の職員だけでなく、外部の人間（地域の方々）にも分かりやすい内容であるようにする。
○計画が確認できるように“見える化”する。

Ｂ．事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	3
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	1	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	0	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	6	0	2

【上記５つのチェック項目に関する意見】
・日頃の事業所風景を知る機会が少なくて申し訳なく思っています。それとなく感じているところで回答しました。
・コロナの関係もあり今はほとんど事業所内の様子は分からなかった。

【前回の改善計画】
・ウッドデッキの環境を使い、利用者様と積み木作りを行い、少しでも地域の方と接しやすい様にする。
・畑を活用し、地域の方がお茶飲み場を作り、よいどこいを知ってもらえる様に、環境作りを行う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】
・現状として、コロナ禍で、やりたくてもやれない難しさがあるのではないでしょうか？状況が変わった時にぜひ、おおいに頑張ってほしい。
・設立当初からすれば、少しずつ地域に馴染んできているのではないかと思います。道路に面してウッドデッキが存在するのは効果的だと感じています。「継続は力なり」ではないでしょうか。

【今回の改善計画】
○コロナ禍で難しいところもあるが、ウッドデッキでの活動を今後も増やしていき、声を掛けてもらえる環境を作る。その他、玄関前の花を植えたり、掲示板などからの発信も含めよいどこいの存在をアピールしていく。
○今後も畑を活用して、御利用者・職員と地域の方と接する場を作り、お互いを知れるように環境作りをしていく。

C．事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	2
1	職員はあいさつできていますか？	8	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	2

【上記５つのチェック項目に関する意見】
・自治会の清掃やグランドゴルフ大会等、いつもご参加いただき感謝しています。
・今回の自己評価に参加されている 12 名の方々全てを存じ上げているわけではありませんが、当方が知っている方、若しくは事業所の雰囲気として回答しました。

【前回の改善計画】
・２か月一回の運営推進会議で、館長さん、自治会長さん、民生委員さん、近隣のデイサービス事業者、地域住民、行政、当事業所職員、ご利用者、ご家族、ほか、テーマにそって子供会、太鼓踊り保存会の方々と顔を合わせて互いが交流できるように働きかける。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】
・コロナ禍で活動の実施が難しかった。祇戸会も子供たちと活動を一緒にしたかったし、子供たちもなにもできず可哀そうだった。今年も地域、自治会の行事の開催は難しいと思われます。
・集落内道路のゴミ拾い作業、向花小の子供たちのスクールガード、「よいどこい機関紙」の配布、地域行事への参加など積極的に行われていると思います。
・学童の子供たちとの交流も難しい状況の中でも、芋ほりを一緒にしたり、雑巾のプレゼントをいただいたりありがたかった。
・個人的にもよいどこいの前を毎日通りますので、お声掛けできるようにしたい。

【改善計画】
〇コロナ感染状況を確認しつつ、できる限り開催できるように努める。
〇交流の在り方は人対人だけではないので、老人会のように花を植えて「きれいだね～」と声をかけてもらえるようにする。
〇六月灯の灯篭をよいどこいのウッドデッキに例年通り飾る事を提案する。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	0	3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5	0	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	5	0	3

【上記５つのチェック項目に関する意見】
・「B」の項目で述べたように事業所の実情について不案内なことが多いので、正確にはお答えできないと思いますが、事業所が醸し出しているオーラみたいなものがあって、様々なことに挑戦されていると感じます。

【前回の改善計画】
・地域行事を見える化して、参加担当を決める。
・地域の活動、行事へご利用者と共にスタッフも参加ができるようにする。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】
「K 様」の対応については心から感謝しております。ご主人存命中から事業所とお付き合いできていたらとも思いますが、お力添えをありがたく思っております。地域住民がこれまで以上に「よいどこい」の存在を意識してくれたらいいなと思います。
・運営推進会議にも積極的に意見を出してくださる地域の方が参加されるのは良いことだし、次の活動の場づくりになる。
・事業開始から年数を重ねて地域の方の理解も生まれた結果が良い方向に動いている証拠と思う。
・地域のことだけでないお仕事も理解している中で、地域のことについて手を差し伸べてくださってありがたい。

【改善計画】
○地域行事を見える化して、参加担当を決める。
○地域の活動や行事には、ご利用者とスタッフが一緒に参加できるようにする。
○運営推進会議を利用して地域の中の困っている方の情報をもらい、相談できる場をつくりだすことができる。

Ｅ．運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	3
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	5	0	3
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6	0	2

【上記５つのチェック項目に関する意見】
・朝日自治会長を担当した時から会議参加となっています。会議の内容や質の向上を感じます。

【前回の改善計画】
・夕涼み会を運営推進会議メンバーと話し合い、地域住民も参加できるように企画していく。
・事業所だけでなく、地域の課題などが出た時に皆で話し合える機会とする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】
・最近、会議の参加者が増えていくのを頼もしく感じています。事業所の皆さまの努力の賜物と思います。
・継続して開催してくださるだけでもありがたい。

【改善計画】
○コロナ禍であるが定期的な開催を大前提として、なるべく多くの方に出席して頂ける工夫をする。
○意見を出しやすい会議を心掛け、行事の事だけでなく、地域の困りごとについても話し合える会議にしていく。

Ｆ．事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	4
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	1	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	1	4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	5	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7	0	1

【上記５つのチェック項目に関する意見】
・日頃から防災、災害対策に力を入れておられると思います。事業所の防災訓練にもお誘いをいただきありがとうございます。

【前回の改善計画】
・府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災をともに考える事業所である認識を持つ。
・当事業所の防災訓練に女性防火クラブ・館長さん・自治会長さん・近隣住民に参加して頂けるよう計画する。
・AED 訓練を実施。その際は地域の方の参加を呼び掛ける。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】
・災害時の時間帯によっては職員さんの状況を考えた時、何よりも近隣の方の手助けが必要となるでしょうね。車椅子の必要な方、杖歩行者の階段利用は一般人では無理と思う。一方、車いす、補助具などを体験できるような訓練を企画し地域の方に声掛けしてみるのも良いのではないか？緊急事態は利用者さん、介助者共にパニック状態になると思います。職員さんだけの防災訓練ではなく地域にも相談して実行できたらいいですね。
・2 年前に策定した府中地区防災計画にも積極的に関わっていただき感謝しております。また、相互連携の確認書にも締結をいただきありがとうございます。地域防災の組織体制整備については、少しずつでも内容を高めていくつもりですので今後ともよろしくお願いいたします。
・今回の総会資料にも防災計画を入れて周知を図っています。
・8 月には公民館にて防火、救命講習会を開催する予定です。その時はぜひ参加を！

【改善計画】
〇府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災をともに考える事業所である認識を持つ。
・当事業所の防災訓練に女性防火クラブ・館長さん・自治会長さん・近隣住民に参加して頂けるよう計画する。
・AED 訓練を実施。その際は地域の方の参加を呼び掛ける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	株式会社　浪漫	代表者	代表取締役 黒岩尚文
事業所名	地域サポートセンターよいどこい	管理者	有薗竹子

法人・事業所の特徴	①　介護予防拠点の地域交流スペースを 365 日開放（体操教室ほか） ②　管轄警察と校区小学校からの子ども 110 番の認定。 ③　霧島市まちかどまるごと相談所設置及びライフサポートワーカーの配置。 ④　毎朝の地域のゴミ拾い。 ⑤　スクールガードの参加。 ⑥　ライフサポートプランの導入。 ⑦　霧島市地域密着型サービス事業者連合会の事務局を担い、行政・地域包括支援センター・事業所のネットワークを作る役割を担っている。 ⑧　家族会の実施 ⑨　加治木に同法人の事業所があり、互いに連携を図っている。 ⑩　社会貢献活動の受け入れ ⑪　学生の職場体験の受け入れ ⑫　子ども倶楽部開催 ⑬　府中公民館・朝日自治会の加入 ⑭　府中防災組織協力事業所 ⑮　霧島市コロナ派遣メンバー加入（一心会） ⑯　積木プロジェクト（幼稚園等への積み木の納品）

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	6 人	人	人	人	1 人	12 人	人	20 人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の 確認	・改善計画、見える化。職員会議を使い、現状を把握、理解し、意識していく。進め方に問題が生じた時には、改善計画の見直しを行う。	・9 項目の改善計画と A～F の改善計画を一つのシートに整理して掲示し、スタッフが把握できるように見える化。計画の実施できたものと、できなかったものがあり、実行可能へ、実行するためにどう動いていくのか考え続けることが必要であった。	・各項目ごとに自己評価することで自己分析が可能となり、他者の結果や意見等を見聞きすることで自らのスキルアップに大きな効果をもたらすものと考える。何事にも、向き、不向きはつきものであり、人それぞれではないでしょうか。できないことに臆することなく、前向きに努力を重ねていただきたい	○９項目の改善計画の内容が実行可能になるように検討をする。 ○同時に事業所の職員だけでなく、外部の人間（地域の方々）にも分かりやすい内容であるようにする。 ○計画が確認できるように“見える化”する。

B．事業所の しつらえ・環境	・ウッドデッキの環境を使い、利用者様と積み木作りを行い、少しでも地域の方と接しやすい様にする。 ・畑を活用し、地域の方がお茶飲み場を作り、よいどこいを知ってもらえる様に、環境作りを行う。	・積み木作りは出来ているが、ウッドデッキで行う事が少なかった。 ・畑を活用し、利用者様と少しでも外へ出る機会を作る。作業をしていると地域の方から声を掛けて下さり、少しでも接する場を作ることが出来た。	・設立当初からすれば、少しずつ地域に馴染んできているのではないかと思います。道路に面してウッドデッキが存在するのは効果的だと感じています。「継続は力なり」ではないでしょうか。	○コロナ禍で難しいところもあるが、ウッドデッキでの活動を今後も増やしていき、声を掛けてもらえる環境を作る。その他、玄関前の花を植えたり、掲示板などからの発信も含めよいどこいの存在をアピールしていく。 ○今後も畑を活用して、御利用者・職員と地域の方と接する場を作り、お互いを知れるように環境作りをしていく。
C．事業所と地域の かかわり	・２か月一回の運営推進会議で、館長さん、自治会長さん、民生委員さん、近隣のデイサービス事業者、地域住民、行政、当事業所職員、ご利用者、ご家族、ほか、テーマにそって子供会、太鼓踊り保存会の方々と顔を合わせて互いが交流できるように働きかける。	・新型コロナウイルス流行もあり、学校が休校。よいどこいのスペースを使い、学習できる場として“こども倶楽部”を開催出来た。 ・コロナの問題がある中で、「芋ほり」やご利用者の作った雑巾をプレゼントするなど、児童クラブとの交流が出来た。 ・子どもたちからもお礼の品を貰った。	・集落内道路のゴミ拾い作業、向花小の子供たちのスクールガード、「よいどこい機関紙」の配布、地域行事への参加など積極的に行われていると思います。 ・学童の子供たちとの交流も難しい状況の中でも、芋ほりを一緒にしたり、雑巾のプレゼントをいただいたりありがたかった。	○コロナ感染状況を確認しつつ、できる限り開催できるように努める。 ○交流の在り方は人対人だけではないので、老人会のように花を植えて「きれいだね～」と声をかけてもらえるようにする。 ○六月灯の灯篭をよいどこいのウッドデッキに例年通り飾る事を提案する。
D．地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・地域行事を見える化して、参加担当を決める。 ・地域の活動、行事へご利用者と共にスタッフも参加ができるようにする。	・地域行事そのものがコロナの影響で中止になり参加できなかった。 ・地域に住んでいる K 様のご利用も始まり、事業所だけで暮しを支えるのではなく、地域の方のご協力を頂き、お互いの情報を共有暮しを支える取り組みが出来た。	「K 様」の対応については心から感謝しております。ご主人存命中から事業所とお付き合いできていたらとも思いますが、お力添えをありがたく思っております。地域住民がこれまで以上に「よいどこい」の存在を意識してくれたらいいなと思います。	○地域行事を見える化して、参加担当を決める。 ○地域の活動や行事には、ご利用者とスタッフが一緒に参加できるようにする。 ○運営推進会議を利用して地域の中の困っている方の情報をもらい、相談できる場をつくりだすことができる。

E. 運営推進会議を活かした取組み	・夕涼み会を運営推進会議メンバーと話し合い、地域住民も参加ができるように企画していく。 ・ほか、当事業所だけでなく、地域の課題などが出た時に皆で話し合える機会とする。	・夕涼み会についてはコロナの関係で開催する事が出来なかった。 ・運営推進会議自体もコロナの影響で文書による開催が多かった。 ・ご近所に住んでいるご利用者のK 様が地域で過して行けるように、運営推進会議を通して、地域の方々と一緒に考え行動することが出来た。	・最近、会議の参加者が増えていくのを頼もしく感じています。事業所の皆さまの努力の賜物と思います。 ・継続して開催してくださるだけでもありがたい。	○コロナ禍であるが定期的な開催を大前提として、なるべく多くの方に出席して頂ける工夫をする。 ○意見を出しやすい会議を心掛け、行事の事だけでなく、地域の困りごとについても話し合える会議にしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	・府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災を共に考える事業所である認識を持つ。 ・当事業所の防災訓練に女性防火クラブ・館長さん・自治会長さん・近隣住民に参加していただけるよう計画する。 ・AED 訓練を実施。その際は地域の方の参加を呼びかける。	・新型コロナの影響もあり、地域の防災訓練は実施されなかったが、事業所の消防避難訓練実施の際には、地域の方が参加して一緒に行えた。 ・AED 設置し、霧島市消防署のご指導の下、AED 訓練を実施。使用する場に遭遇しても、出来るように知識を身に付けることが出来た。	・災害時の時間帯によっては職員さんの状況を考えた時、何よりも近隣の方の手助けが必要となるでしょうね。車椅子の必要な方、杖歩行者の階段利用は一般人では無理と思う。一方、車いす、補助具などを体験できるような訓練を企画し地域の方に声掛けしてみるのも良いのではないか？緊急事態は利用者さん、介助者共にパニック状態になると思います。職員さんだけの防災訓練ではなく地域にも相談して実行できたらいいですね。	○府中防災会議協力事業所として今後も協力し、地域の防災をともに考える事業所である認識を持つ。 ・当事業所の防災訓練に女性防火クラブ・館長さん・自治会長さん・近隣住民に参加して頂けるよう計画する。 ・AED 訓練を実施。その際は地域の方の参加を呼び掛ける。